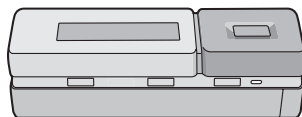
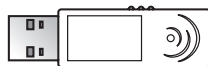
Panasonic®

取扱説明書 Operating Instructions
ワイヤレス オーディオキット
Wireless Audio Kit

品番 **SH-FX550**

Bluetooth®

本書では FOMA P902iS との接続を説明していますが、FOMA P902i とも接続が可能です。ただし、すべての Bluetooth 機能対応携帯電話との動作を保証するものではありません。

保証書別添付

上手に使って上手に節電

このたびは、ワイヤレス オーディオキットをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■ この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（☞23 ～ 27 ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

もくじ

RQT8778-S

ワイヤレス機能（Bluetooth® 機能）使用について

本機は、以下のステップでご利用ください。

■パソコンの音楽を楽しむ

1. Bluetooth ソフトウェアをインストールする（☞8 ページ）
2. トランスミッターとの機器登録（ペアリング）を行う（☞10 ページ）
3. パソコンの音楽を聴く（☞12 ページ）

■携帯電話の音楽を楽しむ

1. 携帯電話との機器登録（ペアリング）を行う（☞15 ページ）
   - 本書では、まず音楽を楽しみたいかたのために、オーディオサービスで接続する操作を説明しています。
2. 携帯電話の音楽を聴く（☞16 ページ）

■携帯電話の通話をする

1. 携帯電話との機器登録（ペアリング）を行う（☞15 ページ）
   - 本書では、オーディオサービスで接続する操作で説明していますが、機器登録自体もこの操作でできています。
2. 携帯電話と接続して通話する
   - ・ハンズフリーサービスで接続するとき、18 ページ
   - ・ヘッドセットサービスで接続するとき、20 ページ
   - 通常のご利用には、ハンズフリーサービスでの接続をおすすめします。

Bluetooth（ブルートゥース）とは .....
電子機器同士をワイヤレス（無線）でつなぐことにより、ケーブルを使用することなく通信できる技術のことです。

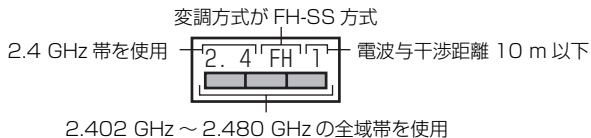
■使用周波数帯

本機は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（たとえば､パーティションの設置など）についてご相談してください。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合せください。

連絡先：　**松下電器産業株式会社**
ナショナル パナソニック　**お客様ご相談センター**
（30 ページ参照）

■**周波数表示の見かた**（定格銘板に記載）

■**機器認定**

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。

- 分解／改造する。
- 本機内面に貼ってある定格銘板をはがす。

■**使用制限**

- 日本国内でのみ使用できます。
- 全ての Bluetooth 機能対応携帯電話とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信する Bluetooth 機能対応携帯電話は、The Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合していても、携帯電話の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- Bluetooth 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時はご注意ください。
- ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■**使用可能距離**

見通し距離約 10 m 以内で使用してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。
上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

■**他機器からの影響**

- 本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じる可能性があります。機器により以下の距離を保って使用することをおすすめします。
  電子レンジ／ワイヤレス LAN . . . . .約 5 m 以上
  電気製品／ AV 機器／ OA 機器／
  デジタルコードレス電話機／ファックスなど. . .約 2 m 以上
- 放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。
- ワイヤレス LAN 内蔵のノート型パソコンなどでは、ワイヤレス LAN の機能と USB トランスミッターを同時に使用しないでください。
- ワイヤレス LAN を約 5 m の距離を保って使用していても、ノイズや音切れが発生する場合は、ワイヤレス LAN の電源を切ってください。

■**用途制限**

本機は一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途※での使用を想定して設計・製造されたものではありません。ハイセイフティ用途に使用しないでください。

※以下のような、きわめて高度な安全性が要求され、直接生命・身体に重大な危険性を伴う用途のことを言います。
例）原子力施設における核反応制御／航空機自動飛行制御／航空交通管制／大量輸送システムにおける運行制御／生命維持のための医療機器／兵器システムにおけるミサイル発射制御など

ご確認ください

はじめにお読みください

本書では、FOMA P902iS と接続して使用する方法を説明しています。

- FOMA P902iS 以外の Bluetooth 機能対応携帯電話と機器登録する場合は、機器登録したい携帯電話の取扱説明書にしたがってください。
- 「FOMA」および「FOMA」ロゴは NTT ドコモの登録商標です。

- 本機で音楽を聴いたりハンズフリー通話をするには、携帯電話が下記の Bluetooth バージョンに対応していることが必要です。
  - ・Bluetooth 標準規格 Ver.1.1 または 1.2
- 本機で音楽を聴くには、携帯電話が下記の Bluetooth プロファイルに対応していることが必要です。
  - ・Advanced Audio Distribution Profile (A2DP)
  - ・Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)
- 本機で携帯電話の通話をするには、携帯電話が下記のどちらかの Bluetooth プロファイルに対応していることが必要です。
  - ・Hands-Free Profile（ハンズフリープロファイル）
  - ・Headset Profile（ヘッドセットプロファイル）

  携帯電話が両方のプロファイルに対応しているときは、ハンズフリープロファイルでの登録をおすすめします。
- 携帯電話の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
  Bluetooth 機能について、詳しくは 2、3 ページをご覧ください。
- 低消費電力モードになっているときは、解除が必要です。（☞17 ページ）
- 本機と携帯電話が近くにあっても電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。
- 運転中の通話は、道路交通法で禁止されています。

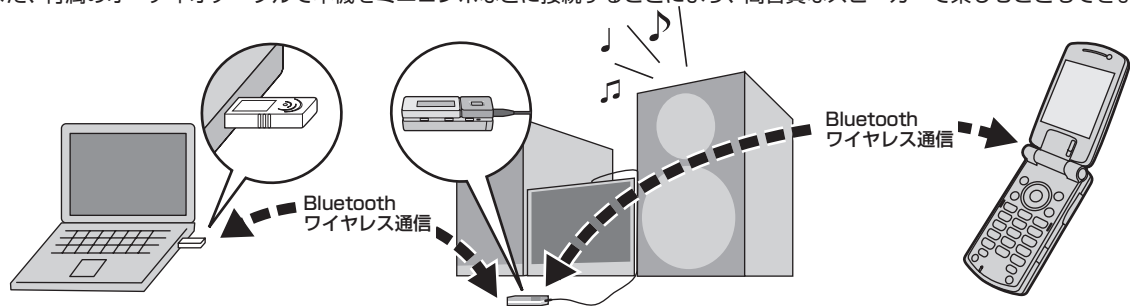
インサイドホンから出力される音声について

本機と FOMA P902iS をワイヤレス通信状態にしているときに、本機のインサイドホンから出力される音声は、以下のようになります。

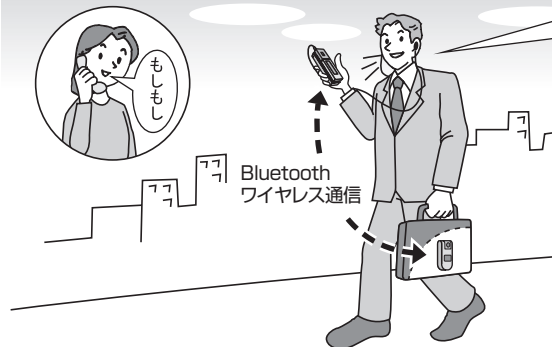
		接続しているサービス※1		
		HSP	HFP	A2DP
音声電話発信音		○	○	×
音声電話・テレビ電話着信音		○	○	×
音声電話・テレビ電話時の呼び出し音		○	○	×
音声電話・テレビ電話時の相手の音声		○	○	×
音声電話時の相手の伝言メモの音声		○	○	×
プッシュトーク発信音		×	×	×
プッシュトーク着信音		×	×	×
プッシュトーク時の相手の音声		×	×	×
メール・メッセージ（R ／ F）着信音	通知優先	×	×	×
	操作優先	×※2	×※2	×※2
サイトからのｉモーション再生音		×	×	×
ｉアプリ効果音		×	×	×
ｉモーション再生音		×	×	○
着うたフル® 再生音		×	×	○
SD オーディオ再生音		×	×	○
アラーム通知音	通知優先	○※3	○※3	×
	操作優先	×※4	×※4	×※4
電池切れアラーム		×	×	×

○：本機から出力されます。
×：本機からは出力されず、携帯電話から鳴ります。
※ 1 HSP： ヘッドセットサービス（Headset Profile）
HFP： ハンズフリーサービス（Hands-Free Profile）
A2DP： オーディオサービス（Advanced Audio Distribution Profile）
※ 2 音声電話中または待受画面以外を表示中は、着信音は鳴りません。
※ 3 通話中のみ本機から鳴ります。本機から鳴る音は、携帯電話でアラーム音に設定した音ではなく、「ピピッピピッ」という通知音です。
※ 4 待受画面以外を表示中は、アラーム通知音は鳴りません。

本機でできること

パソコンや携帯電話の音楽を Bluetooth ワイヤレス通信で本機に送り、付属のインサイドホンで聴くことができます。
また、付属のオーディオケーブルで本機をミニコンポなどに接続することにより、高音質なスピーカーで楽しむこともできます。

携帯電話をカバンに入れたまま、本機で携帯電話の音楽を楽しんだり、着信の応答･通話ができます。

もしもし

Bluetooth
ワイヤレス通信

内蔵マイクで音声を拾います。

相手の声がインサイドホンより聞こえます。

はい。×××

もしもし

内蔵マイクが口元から離れすぎていると、音声を拾いません。

本機では、ハンズフリーサービス（18 ページ）、ヘッドセットサービス（20 ページ）での通話ができます。
携帯電話での通話を主として使用するのであれば、ハンズフリーサービスでの登録をおすすめします。（ハンズフリーサービスでは、本機から直接、携帯電話の 000 番に登録されている相手に電話をかけたりすることなどができます。詳しくは 18 ページをご覧ください。）

各部の名前

本書では、ワイヤレスオーディオレシーバーを「本機」、USB トランスミッターを「トランスミッター」と表記しています。

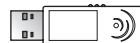
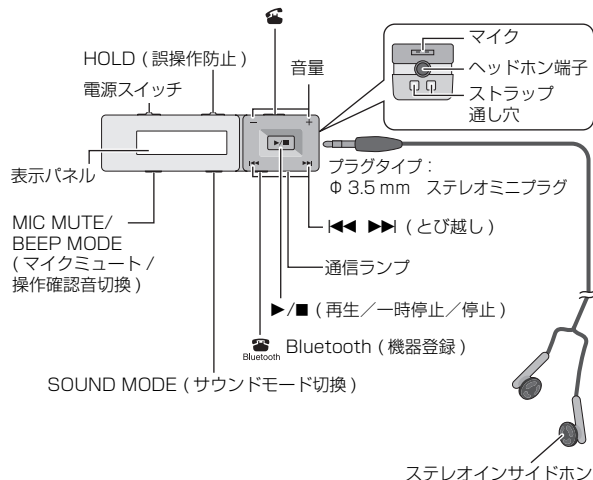
SH-FX550R
（ワイヤレスオーディオレシーバー）

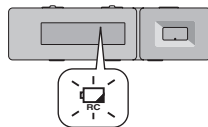
HOLD ▶

ホールド機能について

- ［HOLD］スイッチをホールド側にしておくと、再生が中断したりするなどの誤動作防止になります。
- 本機をホールドにしても、電源の入／切は操作できます。

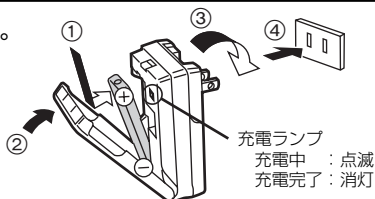
本機が操作できないと思ったら、一度［HOLD］スイッチの状態を確認してみてください。

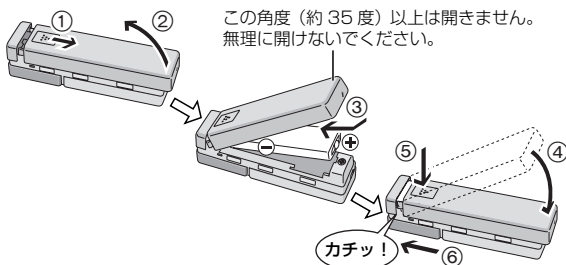
SH-FX550T
（USB トランスミッター）

- トランスミッターはパソコンの音楽を本機で聴く（☞12 ページ）場合に使用します。
- パソコンで使用するためには、Bluetooth ソフトウェアのインストール（☞9 ページ）をしてください。

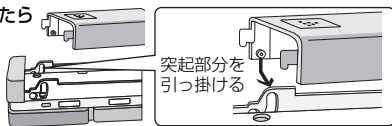
電池残量表示

- 電池残量が残り少なくなったときのみ、点滅表示が現れます。
- 点滅後もしばらくは使用できますが、早めに充電することをおすすめします。

電源の準備

お買い上げ時は、まず充電してからお使いください。
（買い替え品番：HHF-AZ01S/1B）

❶ 充電する。

- 充電器のふたを閉じないと、充電できません。
- **充電時間は約 3 時間です。**
- **再生時間は約 10 時間です。**

❷ 充電式電池を入れる。

■電池ふたがはずれたら

付属品

- **ステレオインサイドホン**（L0BAB0000190）
- **オーディオケーブル**
  ［ステレオミニプラグ→ステレオミニプラグ（K2KC3CA00001）］
- **オーディオケーブル**
  ［ステレオミニプラグ→ピンプラグ× 2（K2KC3CB00004）］
- **CD-ROM**
- **充電器**（RP-BC250HSY1）
- **ニッケル水素充電式電池**（ケース：RFC0076-K）
  ※ニッケル水素充電式電池の買い替えは、
  　別売品（HHF-AZ01S/1B）をお買い求めください。

購入されてから初めてご使用になる電池や長時間ご使用にならなかった電池は十分に充電されない場合があります。
2、3 回充放電を繰り返してください。

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご確認ください。

Pana Sense　http://www.sense.panasonic.co.jp/

（品番は 2006 年 8 月現在のものです。変更されることがあります。）

Bluetooth ソフトウェアをインストールする

動作環境

トランスミッターをご使用いただくためには、以下のような条件を満たしたパソコンが必要です。

対応 OS：

Microsoft® Windows® 2000　Professional（SP4）
Microsoft® Windows® XP　Home Edition（SP2）
Microsoft® Windows® XP　Professional（SP2）

推奨インストール条件：

ハードディスク：100 MB 以上の空き容量

必要なソフトウェア

Windows Media Player 7.1 以降のバージョン

（動作環境は 2006 年 8 月現在のものです。）

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- NEC PC-98 シリーズとその互換機での動作は保証していません。
- Macintosh には対応していません。
- 左記対応 OS 以外の Windows 環境での動作は保証していません。
- OS のアップグレード環境での動作は保証していません。
- マルチブート環境には対応していません。
- システム管理者権限（Administrator）のユーザーのみで使用可能です。
- お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。
- 64 ビット OS 搭載のパソコンには対応していません。
- 他のソフトウェアが同時に起動している場合はこの限りではありません。

Bluetooth ソフトウェアのインストール

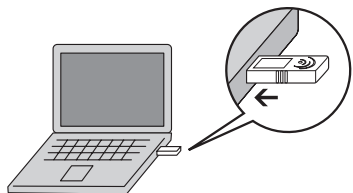
●Bluetooth 機能が内蔵されているパソコンには、このソフトウェアをインストールしないでください。正常に動作しなくなることがあります。
●インストールの途中でトランスミッターを接続する指示があります。それまでトランスミッターを接続しないでください。

❶ パソコンの電源を入れ、Windows を起動する。

❷ 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる。

●インストーラーが自動的に起動します。
●画面の指示に従って操作してください。

❸ トランスミッター接続の指示が表示されたら、パソコンの USB 端子にトランスミッターを接続する。

[Bluetooth デバイス※を取り付けてから「OK」ボタンをクリックしてください。] のメッセージが表示されたら、パソコンの USB 端子にトランスミッターを接続してください。

※ここでの「Bluetooth デバイス」とは、トランスミッターのことです。

❹ <インストールの完了画面> で [完了] をクリックする。

「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択すると、パソコンが自動的に再起動され、インストールが完了します。

条件によっては、インストールに 15 分以上かかることもあります。

インストーラーが自動的に起動されない場合は・・・

1 Windows のスタートメニューで「ファイル名を指定して実行」をクリックする
2 [※:¥setup.exe] と入力し、[OK] をクリックする

●以下、画面の指示に従って続けてください。
●※は CD-ROM ドライブの ID です。
●ここで入力する文字は、大文字·小文字のどちらでもかまいません。

Bluetooth ソフトウェアのインストールが完了した後、再度 CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れると、アンインストーラーが起動します。ソフトウェアを削除したい場合は、画面の指示に従って操作してください。

トランスミッターと機器登録する

トランスミッターとの機器登録 （ペアリング）

❶ 本機で以下の操作を行い､本機を機器登録の待機状態にする。

1 電源スイッチを ON にする。

2 “Pair”表示が出るまで Bluetooth を押したままにする。

❷ パソコンで以下の操作を行い、約 2 分以内に登録する。

1「スタート」メニューで、「すべてのプログラム」→「Bluetooth」→「Bluetooth 設定」の順にクリックし、「新しい接続の追加ウィザード」を起動する。

2 接続設定作成モードの選択をする

「エクスプレスモード（おすすめ）」をお選びいただくと、必要な接続サービスを自動的に設定します。

3「次へ」を選択する

Bluetooth 機器の探索モードになり、トランスミッターの周辺にある Bluetooth 機器を探します。
本機を見つけると、「SH-FX550R」と表示されます。

4 SH-FX550R を選択する

5 Bluetooth パスキー※のテキストボックスを選択し、「0000」を入力

※ Bluetooth 機能対応機器同士が、互いの機器を認証するために使用する番号のことで、各メーカーにより、名称は異なります。本機の場合は「0000」（ゼロ４個）です。

登録が完了すると、本機に“PairOK”と表示され、本機とパソコンがオーディオサービス※1、リモコンサービス※2 で登録された状態になります。

※1 音楽をインサイドホン（ヘッドホン）で聴けるようにするサービスです。

※2 パソコンや携帯電話の音楽を本機でリモコン操作できるようにするサービスです。

- 本機とトランスミッターは、近づけて登録してください。また、失敗したときは、互いの位置を変えてやり直してください。
- 左記の手順 ❶ の 2 で、Bluetooth を押したままにするたびに、以下のように切り替わります。

Pair ⟷ 表示なし（機器登録待機状態の解除）

- 左記の手順で機器登録を行うと、12 ページの操作ですぐにパソコンの音楽を聴くことができます。

Bluetooth ソフトウェアを起動する

Bluetooth ソフトウェアは常駐アプリケーションです。
インストール後はパソコンの電源を入れると、自動的に起動します。

任意で起動する場合：
「スタート」メニューで「すべてのプログラム」→「Bluetooth」→「Bluetooth 設定」の順にクリックする

Bluetooth 設定について

- パソコンの「Bluetooth 設定」メニュー※内の「オプション」でトランスミッターの初期設定値を変更することは可能ですが、その場合の動作は保証していません。

※「スタート」メニューで「すべてのプログラム」→「Bluetooth」→「Bluetooth 設定」の順にクリックする

Bluetooth Manager アイコンの色表示について

パソコンのタスクバーに収納されている Bluetooth アイコン（）は、状態によって色が変化します。

- 緑色
  正常に通信接続されている場合
- 白色
  トランスミッターが USB 端子に接続されていて、通信先の電源が入っていない場合
  通信接続がされていない場合
- 赤色
  トランスミッターが USB 端子に接続されていない場合

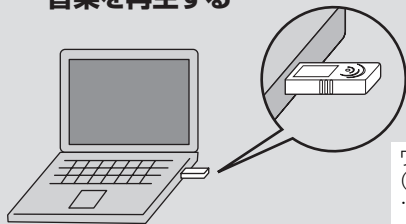
パソコンの状態によっては・・・

- 他のアプリケーションを動作させている場合など、パソコンの動作負荷が重い場合、音が途切れたり、キーの反応が遅くなったりすることがあります。
- 本機の操作確認音が ON の状態で一時停止をしたとき、Windows Media Player での反応が遅れ、操作確認音のあとにノイズ（残留音）が聞こえることがありますが、故障ではありません。
- DVD などの音声を本機で聴く場合、通信環境またはパソコンの状態によっては、映像と音声にタイムラグが生じることがあります。

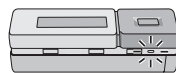
パソコンの音楽を聴く

音楽再生時のボタンと動作　ボタンの位置（☞6 ページ）

Bluetoothソフトウェアをインストール（9ページ）し、トランスミッターと本機を機器登録（10ページ）すると、パソコンと本機がオーディオサービスとリモコンサービスで登録された状態になります。
登録された状態でパソコン上の「Bluetooth設定」（11ページ）から「SH-FX550R」をダブルクリック、または右クリックのメニューから「接続」を選択すると、通信接続されます。

❶ Windows Media Playerで音楽を再生する

❷ 音量を調整する（0～25）

ミニコンポなどと接続する場合は14ページをご覧ください。

ワイヤレス通信中は、通信ランプ（緑）が点滅します。
・通信中…早く点滅
・待機中…ゆっくり点滅

■ 本機からの通信接続・操作

登録された状態で本機の［▶/■］を１回押すと、本機からでも通信接続ができます。

本機を右記のように操作することで、Windows Media Player を操作して、パソコンの音楽を再生することができます。

Windows Media Player の起動

▶/■	Windows Media Player が起動していないとき、押す

● Windows Media Player が起動して、前に演奏した曲から再生が始まります。
● 本機で Windows Media Player を終了させることはできません。

とび越し（スキップ）

▶▶|（進む） |◀◀（戻る）	押す

● |◀◀ を押すと、１つ前の曲の頭から演奏します。

一時停止

▶/■	再生中に、押す

再生

▶/■	停止、または一時停止状態とき押す

♪　♪

停止

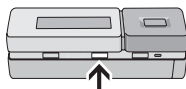
▶/■	約２秒以上押したままにする

● 携帯電話とハンズフリーサービスまたはヘッドセットサービスで機器登録（18、20 ページ）していて、本機でパソコンの音楽を聴いているときに着信があった場合は、パソコンの音楽の再生が一時中断されて、携帯電話のハンズフリー通話になります。
通話に関する操作は 18 ～ 21 ページをご確認ください。
通話が終了すると、再びパソコンとの接続に戻ります。

サウンドモードを切り換える

高音質（SOUND2）と標準の音質（SOUND1）のどちらを優先するかを選べます。
（お買い上げ時は“SOUND2”に設定されています。）

電源スイッチをいったん OFF にして ON に戻し、“Wait. .”表示が消えてから [SOUND MODE] を押したままにするたびに

SOUND1（標準の音質） ⟷ SOUND2（高音質）

SOUND MODE ボタン

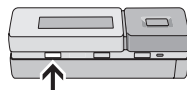
● パソコン（トランスミッター）から離れていたり、電波の状態によって音が途切れたり雑音が入る場合は、“SOUND1”を選びます。
● サウンドモードの状態が知りたい場合は、［SOUND MODE］ボタンを短く 1 回押すと現在の設定が表示されます。

操作確認音を切り換える

音量調整以外の操作確認音の入 (BP ON) / 切 (BP OFF) を選べます。
（お買い上げ時は“BP OFF”に設定されています。）

電源スイッチをいったん OFF にして ON に戻し、“Wait. .”表示が消えてから [MIC MUTE/BEEP MODE] を押したままにするたびに

BP ON（操作確認音入） ⟷ BP OFF（操作確認音切）

MIC MUTE/ BEEP MODE ボタン

● 操作確認音の状態が知りたい場合は、［MIC MUTE/BEEP MODE］ボタンを短く 1 回押すと現在の設定が表示されます。

暗いところで表示を見るときは

ホールドスイッチの位置を切り換える。
切り換えるたびに、表示部が約 5 秒間点灯します。

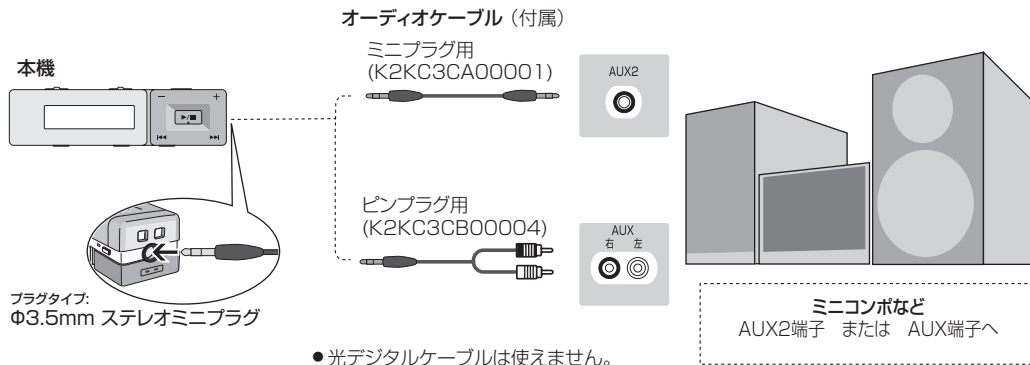
本書では Windows Media Player での説明をしています。他のアプリケーションでの動作に関しては、ホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

ミニコンポなどとの接続

付属のオーディオケーブルを以下のようにミニコンポの AUX2 端子、または AUX 端子に接続することで、パソコンの音楽をミニコンポなどのスピーカーで楽しむことができます。

本機と接続機器の電源を切ってから、接続してください。各プラグは、奥までしっかり差し込んでください。

他機器との接続時、本機の音量は 15 ～ 20 にし、接続機器側で調整してください。

●光デジタルケーブルは使えません。

上記の接続をすると、携帯電話の音楽（☞16 ページ）をミニコンポなどのスピーカーで楽しむこともできます。

FOMA P902iS と機器登録する

機器登録 （ペアリング）

❶ 本機で以下の操作を行い、本機を機器登録の待機状態にする。

1 電源スイッチを ON にする。

2 “Pair” 表示が出るまで Bluetooth を押したままにする。

❷ FOMA P902iS で以下の操作を行い、約 2 分以内に登録する。

1 (メニュー) ▶ LifeKit ▶ Bluetooth ▶ 接続機器リスト

2 (✉) （サーチ）を押す

携帯電話の周辺にある Bluetooth 機器を探します。
本機を見つけると、「SH-FX550R」と表示されます。

3 SH-FX550R を選択 ▶ (●) ▶ YES

▶ 端末暗証番号を入力 ▶ (●)

4 Bluetooth パスキー※のテキストボックスを選択 ▶ (●)

▶ 「0000」を入力 ▶ (●) ▶ 確定

※ Bluetooth 機能対応機器同士が、互いの機器を認証するために使用する番号のことで、各メーカーにより、名称は異なります。本機の場合は「0000」（ゼロ 4 個）です。

登録が完了すると、本機に “PairOK” と表示されます。

5 オーディオを選択 ▶ (●)

本機と携帯電話が、オーディオサービスで接続された状態になります。

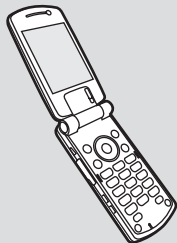
- 本機と携帯電話は、近づけて登録してください。また、失敗したときは、互いの位置を変えてやり直してください。
- 左記の手順 ❶ の 2 で、Bluetooth を押したままにするたびに、以下のように切り替わります。

Pair ⟷ 表示なし（機器登録待機状態の解除）

- 左記の手順で機器登録を行うと、次頁の操作ですぐに携帯電話の音楽を聴くことができます。
携帯電話の通話を本機で行うための接続については、以下をご覧ください。
ハンズフリーサービスで接続するとき、18 ページ
ヘッドセットサービスで接続するとき、20 ページ

携帯電話の音楽を聴く　オーディオサービス

携帯電話の音楽を再生する

前ページの操作で携帯電話と本機を機器登録すると、携帯電話と本機がオーディオサービスで接続された状態になります。
そのまま以下の操作を行ってください。

携帯電話で音楽を再生する

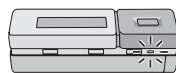
Bluetooth
ワイヤレス通信

2 音量を調整する（0～25）

ミニコンポなどと接続する場合は14ページをご覧ください。

プラグは奥まで

長い方を右耳へ

ワイヤレス通信中は、通信ランプ（緑）が点滅します。
・通信中…早く点滅
・待機中…ゆっくり点滅

●携帯電話をポケットや鞄に入れた状態で本機を利用する場合、ポケットや鞄の位置、携帯電話の向きによっては雑音が入ったり音声が途切れたりすることがあります。
●ハンズフリーサービスやヘッドセットサービスで接続していても、メールやメッセージ（R ／ F）の着信音やプッシュトークの着信音、アラーム通知音や電池切れアラーム音は本機からは鳴りません。また、音楽を本機から再生中に以上のことが起きると、本機からの音楽は停止しますので、音楽が停止した場合は、携帯電話を確認してください。
このとき、オーディオサービスが切断される場合があります。
その他、本機から出力される音声については、4 ページをご覧ください。
●電源スイッチを ON の状態で放置していると、電池が消耗します。使用しないときは、OFF にしてください。
●携帯電話の通話を本機で行う操作については、以下のページをご覧ください。
ハンズフリーサービスで操作するとき、18 ページ
ヘッドセットサービスで操作するとき、20 ページ

●以下のときは、［▶/■］を 1 回押すと音楽再生を自動停止したところでの一時停止状態になり、もう 1 回押すと、自動停止したところから音楽再生が再開されます。
・音楽再生中の着信に応答し、約 10 分以内に通話を終了したとき
・音楽再生中にメールやメッセージ（R ／ F）を受信したとき
使用環境などによっては接続が切断される場合があります。
音楽再生を再開したいときは、次頁「オーディオサービスでの接続方法」の手順で接続し直してください。

●以下のときは、接続が切断されます。
・音楽再生中の着信に応答し、約 10 分経過後に通話を終了したとき
・携帯電話が音楽再生以外の状態で、約 10 分以上経過したとき
音楽再生を再開したいときは、次頁「オーディオサービスでの接続方法」の手順で接続し直してください。

音楽再生時のボタンと動作　ボタンの位置（☞6 ページ）

とび越し（スキップ）

▶▶|（進む） |◀◀（戻る）	押す

- SD オーディオ再生中に前曲に戻るには、[|◀◀] を 2 回続けて押す。
- ｉモーション再生中に前曲に戻るには、[|◀◀] を 1 回押す。

一時停止

▶/■	押す

再生

▶/■	押す

♪　♪

停止

▶/■	約 2 秒以上 押したままにする

オーディオサービスでの接続方法

❶ **本機の電源スイッチを ON にし、ホールドを解除する。**

❷ **携帯電話側で以下の操作を行い、接続する。**

1 (メニュー) ▶ LifeKit ▶ Bluetooth ▶ 接続機器リスト

2 SH-FX550R を選択 ▶ オーディオを選択 ▶ ◉（接続）

携帯電話の音楽を聴くときでも可能な操作

13 ページの「サウンドモードを切り換える」、「操作確認音を切り換える」、「暗いところで表示を見るときは」の操作は携帯電話の音楽を聴くときでも使用できます。

ワイヤレス通信機能の自動「切」（低消費電力モード）

約 36 時間、無動作の状態が続くと、節電のため自動的に低消費電力モードに入り、ワイヤレス通信を受け付けません。再度ワイヤレス通信するときは、下記の操作で低消費電力モードを解除してください。

- ワイヤレス通信機能の自動「切」は、無効にできません。
- 低消費電力モードに入ると、通信ランプは消灯します。
- 低消費電力モード中に、ボタン操作をすると “SLEEP” と表示されます。

解除の仕方

電源スイッチを、いったん OFF にして、ON に戻す。
解除されると、通信ランプが点滅します。

携帯電話の通話をする ハンズフリーサービス

登録済み携帯電話と本機を接続する

ハンズフリーサービスで接続する前に、機器登録（ペアリング）をしておく必要があります。（☞15 ページ）

❶ 15 ページの ❷-4 までの操作を行う。

❷ FOMA P902iS で以下の操作を行い、接続する。

1 (メニュー) ▶ LifeKit ▶ Bluetooth ▶ 接続機器リスト

2 SH-FX550R を選択 ▶ ハンズフリーを選択 ▶ ◉（接続）

■**ワイヤレス通信待機状態になっているか確認するには**

Bluetooth **を押す。**

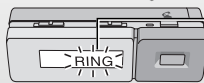
ワイヤレス通信待機状態のときは、"HFP OK"の表示が出ます。ワイヤレス通信待機状態が解除されているときは、再アクセスを開始します。

- 電源スイッチをいったん OFF にすると、その時点で、ワイヤレス通信待機状態が解除されます。
- 携帯電話の仕様や設定により、ワイヤレス通信待機状態が自動的に解除されることがあります。

定期的に状態を確認することをおすすめします。

■**別の Bluetooth 機能対応携帯電話と、ワイヤレス通信したいときは**

ワイヤレス通信したい携帯電話に対して、あらたに機器登録の手順から行ってください。（☞15 ページ）また、以前に登録した携帯電話と再度ワイヤレス通信したいときも同じです。

電話を受ける

- 携帯電話の「音声読み上げ設定」を ON にしていると、着信時に音声ガイダンスが流れます。（FOMA P902i にはこの機能はありません）

着信を拒否する

着信中、押す

“REJECT” と表示

こちらの音声を、相手に聞こえなくする（マイクミュート）

MIC MUTE/BEEP MODE　通話中、押すたびに

“MUTE”（点滅）⟷ “TALK”
（マイクミュート）　（通話）

- 相手の声は聞こえます。
- マイクミュート中に携帯電話へ通話切換し、再度本機に戻すと、マイクミュートは解除されます。

割込通話※を受ける

通話中、着信したときに押す

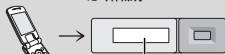
通話中の Ⓐ の電話を保留にして、かかってきたほうの Ⓑ と通話します。

Ⓑ の通話を終了し、Ⓐ の通話に戻るには Bluetooth を押す

を押すたびに、片方を保留にし、通話が切り換わります。

本機 ⟷ 携帯電話に通話を切り換える（通話切換）

通話中、押したままにする

押したままにするたびに、交互に切り換わります。

携帯電話から本機へは、押すだけでも通話が切り換わります。

割込通話※を拒否する

通話中、着信したときに押す

※ 携帯電話の契約で、割込通話の申し込みが必要です。

インサイドホン側の着信音については、21 ページをご覧ください。

電話をかける

0 番発信

携帯電話のメモリーダイヤル 000 番に登録している人へ電話をかけます。

“M DIAL” と表示後、“CALL” が点滅

❶ **を押したままにする**
- 相手が電話に出ると、通話が始まります。

通話する

“TALK” と表示

❷ **通話音量を調節する（0 ～ 15）**

通話を終了する

❸ Bluetooth **を押す**

0 番発信以外のかけかたのヒント

携帯電話側で発信し、呼び出し中に を押すと、本機へ切り換わり、ハンズフリー通話ができます。

携帯電話の通話をする

登録済み携帯電話と本機を接続する

ヘッドセットサービスで接続する前に、機器登録（ペアリング）をしておく必要があります。（☞15 ページ）

❶ 15 ページの ❷-4 までの操作を行う。

❷ FOMA P902iS で以下の操作を行い、接続する。

1 (ﾒﾆｭｰ) ▶ LifeKit ▶ Bluetooth ▶ 接続機器リスト

2 SH-FX550R を選択 ▶ ヘッドセットを選択 ▶ ◉（接続）

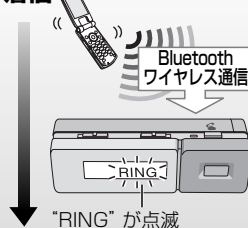
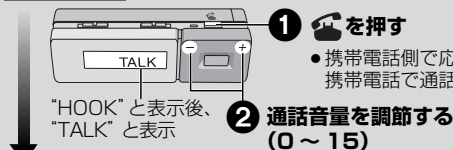
■ワイヤレス通信待機状態になっているか確認するには

Bluetooth を押す。
ワイヤレス通信待機状態のときは、“HSP OK”の表示が出ます。
ワイヤレス通信待機状態が解除されているときは､再アクセスを開始します。

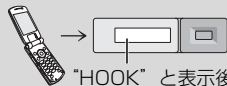
- 電源スイッチをいったん OFF にすると、その時点で、ワイヤレス通信待機状態が解除されます。
- 携帯電話の仕様や設定により、ワイヤレス通信待機状態が自動的に解除されることがあります。

定期的に状態を確認することをおすすめします。

■別の Bluetooth 機能対応携帯電話と、ワイヤレス通信したいときは
ワイヤレス通信したい携帯電話に対して、あらたに機器登録の手順から行ってください。（☞15 ページ）また、以前に登録した携帯電話と再度ワイヤレス通信したいときも同じです。

電話を受ける

- 携帯電話の「音声読み上げ設定」を ON にしていると、着信時に音声ガイダンスが流れます。（FOMA P902i にはこの機能はありません）

携帯電話 ――→ 本機に通話を切り換える（通話切換）

通話中、押す

“HOOK”と表示後、“TALK”と表示

本機から携帯電話へ切り換えるには、携帯電話側で操作する必要があります。

こちらの音声を、相手に聞こえなくする（マイクミュート）

MIC MUTE/BEEP MODE　通話中、押すたびに

“MUTE”（点滅）←――→“TALK”
（マイクミュート）　（通話）

- 相手の声は聞こえます。
- マイクミュート中に携帯電話へ通話切換し、再度本機に戻すと、マイクミュートは解除されます。

■**インサイドホン側の着信音について**

音	携帯電話で設定した着信音※1
音量	通話音量と同じ※2

※1 携帯電話の仕様や設定により、指定した着信音が出ない場合は、電子音になります。

※2 着信音の音量のみを調節することはできません（通話音量と連動）。また、電子音は調節できません。

メール・メッセージ（R ／ F）の着信音やアラーム通知音、電池切れアラーム音は鳴りません。

その他、詳しくは４ページをご覧ください。

電話をかける

かける相手を選ぶ

❶ **携帯電話側で、電話帳、リダイヤル、着信履歴などを呼び出す**

- 電話番号まで呼び出してかけることもできます。

発信する

“HOOK”と表示後、“TALK”と表示

❷ **☎を押す**

- 相手が電話に出ると、通話が始まります。

❸ **通話音量を調節する（0 ～ 15）**

通話を終了する

“HOOK”と表示

❸ **☎を押す**

主な仕様

■ SH-FX550R

電源： DC 1.2 V（付属ニッケル水素充電式電池）
Bluetooth バージョン： Ver.1.2 準拠
送信出力： Class 2（2.5mW）
見通し通信距離※2： 約 10 m
Bluetooth 搭載プロファイル： 音楽：A2DP、AVRCP
通話：HFP、HSP
通信方式：
2.4 GHz 帯 FH-SS（周波数ホッピングスペクトラム拡散方式）
動作時間： 約 10 時間（演奏時間※1）
約 150 時間（HFP ワイヤレス通信待機状態※3）
使用温度範囲： 0 ℃～ 40 ℃
最大外形寸法（幅×高さ×奥行）： 80.4 mm × 20.6 mm × 21 mm
質量： 約 50.6 g（付属充電式電池含む）
約 26.3 g（電池含まず）

■ SH-FX550T

電源： DC 5 V（USB）
Bluetooth バージョン： Ver.1.2、Ver.2.0 ＋ EDR 準拠
送信出力： Class 2（2.5mW）
見通し通信距離※2： 約 10 m
Bluetooth 搭載プロファイル： 音楽：A2DP、AVRCP
通信方式：
2.4 GHz 帯 FH-SS（周波数ホッピングスペクトラム拡散方式）
使用温度範囲： 10 ℃～ 35 ℃
最大外形寸法（幅×高さ×奥行）： 55.5 mm × 8.8 mm × 17.6 mm
質量： 約 6 g

■充電器

出力電圧： DC 1.2 V
充電温度範囲： 10 ℃～ 35 ℃
充電時間： 約 3 時間（付属ニッケル水素充電式電池）

※1 演奏時間は、ノートパソコンに接続した USB トランスミッターを使用し、水平安定状態、温度 25 ℃、CD-DA −25 dB 音量最大再生、USB トランスミッターとワイヤレスオーディオレシーバー間 30 cm、携帯電話未接続状態にして測定したものであり、使用条件などにより短くなる場合があります。約 1 ～ 2 日無動作状態が続くと、節電のためにワイヤレス通信を自動的に切断します。

※2 見通し通信距離は、ノートパソコンに接続した USB トランスミッターを使用し、温度 25 ℃、高さ 1.2 m、USB トランスミッターとワイヤレスオーディオレシーバーを見通し状態で測定したものであり、間に人が入るなど使用条件により異なる場合があります。

※3 低消費電力モード（17 ページ）に移行しなかった場合。

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

危険

充電式電池は専用の充電器を使って充電する
専用の充電器以外で充電すると、電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。
- 充電式電池も必ず指定のものをご使用ください。

充電式電池は、はんだ付け・分解・改造したり、火の中へ投入・加熱はしない
電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

警告

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない
たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

充電は、交流（AC）100 V を使う
指定外の電圧や電源で使用すると、火災や感電の原因になります。

⚠警告

充電式電池は誤った使いかたをしない
- **水などの液体へ入れたりしない**
- **⊕ と ⊖ を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに持ち運んだり、保管しない**
- **⊕ と ⊖ を逆に入れない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
- 充電式電池を携帯・保管する場合は、必ず付属の電池ケースに入れてください。
- 充電式電池には安全のために被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

使い切った電池は、すぐに機器から取り出す
そのまま機器の中に放置すると、充電式電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

充電式電池の液もれや変色、変形などの異常に気がついたときは使用しない
そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

充電式電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする
- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる
プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使わないときは、電源プラグを抜いてください。

電源プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたりしない。

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。
- プラグの修理は、販売店にご相談ください。

⚠ 警告

電源プラグを抜く

異常があったときは電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 充電式電池は取り外してください。
- 販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使わないでください。

分解禁止

分解・改造をしない

機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

乗り物を運転中に操作したり、ステレオインサイドホンで使わない

事故の原因になることがあります。

- 運転中に携帯電話の通話を本機でしないでください。
- 歩行中でも周囲の状況に十分ご注意ください。

接触禁止

雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない

感電の原因になります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

USB トランスミッターは、乳幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込むおそれがあります。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

航空機内では本機の電源を切る

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

警告

自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで本機を使用しない
本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

病院内や医療用電気機器のある場所で本機を使用しない
本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から 22 cm 以内で本機を使用しない
本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、本機の電源を切る
本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

注意

長期間使わないときは、本機から充電式電池を取り出す
電池の液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

充電後は安全のため、充電器をコンセントから抜いておく
通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

⚠ 注意

使用しないときは、充電式電池を機器から取り外す
通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない
取り扱いを誤ると、火災・感電の原因になります。

異常に温度が高くなるところに置かない
特に真夏の車中、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60 ℃以上）になります。本機を絶対に放置しないでください。機器表面や内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

ステレオインサイドホン使用時は音量を上げすぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ステレオインサイドホンなどが直接触れる耳や肌などに異常を感じたら使用を中止する
そのまま使用すると炎症やかぶれなどの原因になることがあります。

使用後は、貴重な資源を守るためにリサイクルへ！
使用済み充電式電池の届け先：
- 最寄りのリサイクル協力店へ
- 詳細は、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。
  （ホームページ：http://www.jbrc.net/hp）

ニッケル水素電池使用

ーこのマークがある場合はー

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

こんな表示が出たら

CALL	電話をかけて、相手を呼び出し中です。
Conn. .	相手機器にアクセス中です。表示中、ボタン操作は無効です。
ConnOK	相手機器にアクセス成功しました。
Discon	ワイヤレス通信が切断されました。(☞ 下記 Ⓑ、Ⓓ)
Failed	相手機器にアクセスできませんでした。 (☞ 下記 Ⓑ、Ⓓ ～ Ⓕ)
HFP OK	ハンズフリーサービスでワイヤレス通信待機状態です。
HOLD	ボタン操作を受けつけない状態（ホールド状態）です。 解除してください。(☞6 ページ)
HOOK	ヘッドセットサービスでワイヤレス通信待機状態のとき、 着信応答・発信・通話終了をしました。
HSP OK	ヘッドセットサービスでワイヤレス通信待機状態です。
LinkNG	● ワイヤレス通信が不安定になっています。(☞ 下記 Ⓓ) ● パソコンが一時的に過負荷となっていませんか。
M DIAL	携帯電話のメモリーダイヤル 000 番に登録している人へ 電話をかけました。
MUTE	ハンズフリー通話がマイクミュートになっています。(☞13ページ)
NoPair	● 登録している機器がありません。(☞ 下記 Ⓔ) ● 登録済みの機器とオーディオサービスで接続していないときに、本機の再生ボタンを押しました。 ● ハンズフリーサービスまたはヘッドセットサービスで接続していないときに、Bluetooth または を押しました。

Pair	機器登録モードになっています。何かのボタンを押すと解除されます。(☞10 ページ)
PairNG	機器登録失敗です。(☞10 ページ)
REJECT	電話の着信を拒否しました。
RING	電話を着信中です。
SLEEP	本機が低消費電力モードに入っています。解除してください。(☞17 ページ)
TALK	点灯中は本機で、点滅中は携帯電話側で通話中です。
VOICE	音声で電話をかけられる状態です。(携帯電話の音声認識機能が起動しました。) FOMA P902iS では対応しておりません。
Wait. .	本機を起動中です。表示中、ボタン操作は無効です。
→HF	携帯電話から本機へ、通話を切り換えました。
→PHONE	本機から携帯電話へ、通話を切り換えました。
– – –	● 携帯電話に Bluetooth 機能対応の音声認識機能がありません。 ● 携帯電話のメモリーダイヤル 000 番に登録がありません。 ● 本機の動作に携帯電話が対応していません。

ワイヤレス通信できないときや、切断されるときは、以下のことをお確かめください

Ⓐ 低消費電力モードに入っていませんか。解除してください。(☞17 ページ)
Ⓑ 電池が消耗していませんか。(☞6 ページ)
Ⓒ 本機の電源スイッチが ON になっていますか。
Ⓓ ワイヤレス使用可能距離の約 10 m を越えていませんか。また、間に障害物があったり、他機器からの影響を受けていませんか。(☞3 ページ)
Ⓔ 携帯電話、トランスミッターとの機器登録はしましたか。(☞10、15 ページ)
Ⓕ 登録済み携帯電話、トランスミッターと本機がワイヤレス通信待機状態になっていますか。(☞12、16、18、20 ページ)

故障かな !?

修理を依頼する前に、この表で症状をお確かめください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

症状	処置
ハンズフリー通話ができない	ワイヤレス通信に不具合があります。(☞28 ページ Ⓐ、Ⓒ、Ⓓ ～ Ⓕ)
音が聞こえない 音が聞こえにくい 雑音がする 音が途切れる	● インサイドホンのプラグが奥まで入っていますか。 ● プラグが汚れていませんか。 ● 携帯電話の影響で雑音が入る場合があります。 ● 携帯電話の仕様や設定により、携帯電話操作時に音が途切れる場合があります。 ● ワイヤレス通信に不具合があります。(☞28 ページ Ⓓ) ● パソコンの音量がミュート、または小さく設定されていませんか。ボリュームコントロールで設定してください。 ● 本機以外の Bluetooth 対応機器を使用していませんか。同時に使用しないでください。 ● 他のアプリケーションを動作させているなど、パソコンの動作状態によっては音が途切れる場合があります。 ● パソコンが省電力モードになっていませんか。
操作時の「ピッ」という音が聞こえない	● オーディオ再生時・ハンズフリー通話時の音量調節は、操作確認音が出ません。 ● 操作確認音を「切」にしていませんか。(☞13 ページ)
「ピピピピ」と音がする	操作無効のお知らせ音です。操作状況をお確かめください。
本機が動かない	● ホールド状態になっていませんか。解除してください。(☞6 ページ) ● 電池が消耗していませんか。充電してください。
機器登録(ペアリング)できない	本機を機器登録モードにしてから 2 分以上経過していませんか。2 分以上経過すると、自動的に解除になります。
機器登録済みなのに、接続できない	● パソコンと携帯電話にオーディオサービスで機器登録済みの場合、接続先の切換をするときはパソコンあるいは携帯電話側で再度接続しなおしてください。 ● 本機では Bluetooth 対応機器を 4 台まで登録できますが、5 台目以降は古いものから消去します。もう一度、機器登録してください。
機器登録済みなのに、パソコンとの接続に失敗する	● パソコンが他のデバイスと接続済みではありませんか。 ● SCMS-T 設定のミスではありませんか。 ● パソコンを再起動させて、再度機器登録してください。
本機のボタンを押しても反応が遅い	パソコンの動作状態によっては、反応が遅くなることがあります。

症状	処置
本機で Windows Media Player を操作できない	本機は Windows Media Player 7.1 以降に対応しています。
本機で Windows Media Player を終了できない	本機では Windows Media Player を終了することができません。パソコン上で操作して、終了してください。
充電できない	指定のニッケル水素充電式電池(HHF-AZ01S/1B)を使っていますか。(☞7 ページ)
充電中、充電電池が熱い	多少熱くなりますが、異常ではありません。
フル充電の時間が過ぎても、充電が終わらない	充電状態によって、最大約 3 時間かかる場合があります。
充電しても使用できる時間が短い	● 初めての充電や長期間未使用後の充電では短いことがあります。何回か充電すると戻ります。 ● 電源スイッチを入れたままで放置すると、電池が消耗します。 ● 充電しても再生時間が極端に短い場合は、充電式電池の寿命です(充電回数は約 300 回)。ニッケル水素充電式電池(HHF-AZ01S/1B)をお買い求めください。
電池残量表示が表示されない	電池残量が少なくなったときのみ、電池残量表示が点滅します。
「♪」が表示されているのに音楽が再生されない	● 一時停止または停止状態ではありませんか。 ● パソコンの音量がミュート、または小さく設定されていませんか。ボリュームコントロールで設定してください。
音楽再生中に、音が聞こえなくなった	メールやメッセージ(R ／ F)を受信したりしていませんか。携帯電話をお確かめください。
音楽は再生できるがリモコンで操作ができない	パソコン上で「AV リモートコントロールサービス」が OFF になっていませんか。
SCMS-T(コピー制御技術)で著作権保護された音楽が再生できない	本機は対応していません。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間
（「本体」にはソフトウェアの内容は含みません）

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このワイヤレス オーディオキットの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

29 ページの「故障かな !?」の表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源を OFF にして、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
製品名	ワイヤレス オーディオキット	お買い上げ日	年　月　日
品番	SH-FX550	故障の状況	できるだけ具体的に

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　**お客様ご相談センター**

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187
FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　**修理ご相談窓口**

ナビダイヤル（全国共通番号）　**0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

北海道地区

- **札幌** 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251
- **旭川** 旭川市2条通16丁目1166 ☎(0166)22-3011
- **帯広** 帯広市西20条北2丁目23-3 ☎(0155)33-8477
- **函館** 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎(0138)48-6631

東北地区

- **青森** 青森市大字浜田字豊田364 ☎(017)775-0326
- **秋田** 秋田市東通り2丁目1-7 ☎(018)831-7833
- **岩手** 盛岡市厨川5丁目1-43 ☎(019)645-6130
- **宮城** 仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117
- **山形** 山形市平清水1丁目1-75 ☎(023)641-8100
- **福島** 郡山市亀田1丁目51-15 ☎(024)991-9308

首都圏地区

- **栃木** 宇都宮市上戸祭3丁目3-19 ☎(028)689-2555
- **群馬** 前橋市箱田町325-1 ☎(027)254-2075
- **茨城** つくば市筑穂3丁目15-3 ☎(029)864-8756
- **埼玉** 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960
- **千葉** 千葉市中央区末広5丁目9-5 ☎(043)208-6034
- **東京** 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9780
- **山梨** 甲府市宝1丁目4-13 ☎(055)222-5171
- **神奈川** 横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)847-9720
- **新潟** 新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-0171

中部地区

- **石川** 金沢市横川3丁目20 ☎(076)280-6608
- **富山** 富山市根塚町1丁目1-4 ☎(076)424-2549
- **福井** 福井市問屋町2丁目14 ☎(0776)25-5001
- **長野** 松本市寿北7丁目3-11 ☎(0263)86-9209
- **静岡** 静岡市駿河区有東2丁目3-22 ☎(054)287-9000
- **愛知** 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎(052)819-0225
- **岐阜** 岐阜市中鶉4丁目42 ☎(058)278-6720
- **高山** 高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613
- **三重** 津市久居野村町字山神421 ☎(059)255-1380

近畿地区

- **滋賀** 栗東市霊仙寺1丁目1-48 ☎(077)582-5021
- **京都** 京都市伏見区竹田中川原町71-4 ☎(075)672-9636
- **大阪** 大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎(06)6359-6225
- **奈良** 大和郡山市筒井町800番地 ☎(0743)59-2770
- **和歌山** 和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984
- **兵庫** 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 ☎(078)272-6645

中国地区

- **鳥取** 鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695
- **米子** 米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129
- **松江** 松江市平成町182番地14 ☎(0852)23-1128
- **出雲** 出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133
- **浜田** 浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629
- **岡山** 岡山市田中138-110 ☎(086)242-6236
- **広島** 広島市西区南観音8丁目13-20 ☎(082)295-5011
- **山口** 山口県吉敷郡小郡町下郷220-1 ☎(083)973-2720

四国地区

- **香川** 高松市勅使町152-2 ☎(087)868-6388
- **徳島** 徳島市沖浜2丁目36 ☎(088)624-0253
- **高知** 高知市仲田町2-16 ☎(088)834-3142
- **愛媛** 愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1 ☎(089)905-7544

九州地区

- **福岡** 春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036
- **佐賀** 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎(0952)26-9151
- **長崎** 長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658
- **大分** 大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815
- **宮崎** 宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎(0985)63-1213
- **熊本** 熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067
- **天草** 本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125
- **鹿児島** 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎(099)250-5657
- **大島** 名瀬市長浜町10-1 ☎(0997)53-5101

沖縄地区

- **沖縄** 浦添市城間4丁目23-11 ☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

この取扱説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定
の再生紙を使用しています。

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ
〒571-8504　大阪府門真市松生町１番15号

RQT8778-S
F0706MH0